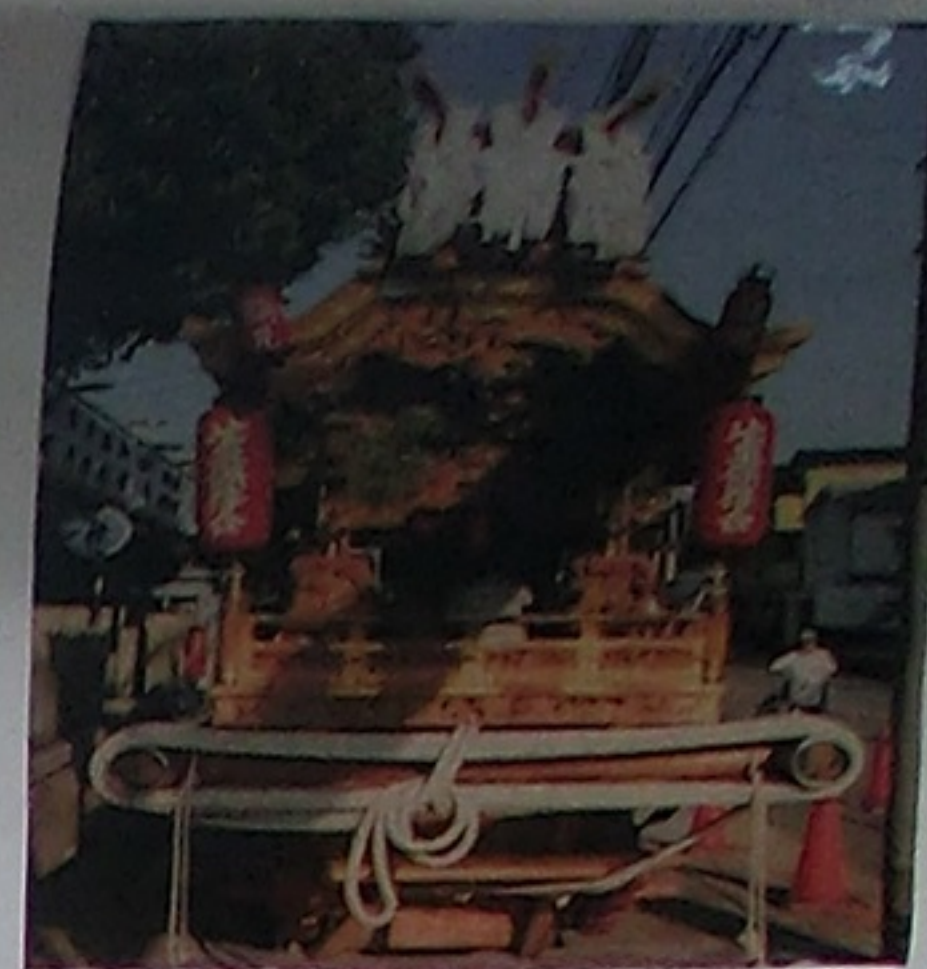




鶴見神社の地車について

鶴見神社宮司 花谷幸比古 氏

ここでなぜ、「山車」(だし)のことを関西では「だんじり」というのか、説明をします。

「だんじり」は、「塩尻」や「地車」、「台尻」など、地域によって様々な呼び名があります。鶴見では「地車」と書いて「だんじり」と呼びます。「山車」が一部方言化されて「だんじり」となったとする説や、屋台をじりじりと動かす様から、当初『台ずり』と呼ばれていたものが転じて、『だんじり』となったとする説や道教や密教で「祭壇」や「塚」を意味する「壇」を引きずるという意味から「だんじり」となったという説など、たくさんありますが、正確な語源はわかっておりません。

ところで鶴見神社には現在2台の地車があります。昔は3台ありました。東の町、西の町、中の町の「だんじり」です。中の町の「だんじり」は大正年間、●鶴見の隣町、南寺方の氏子に売却となりました。5年前でしようか、100年ぶりに南寺方の「だんじり」が鶴見神社に帰ってきました。100年ぶりに3台の「だんじり」が帰ってきたのです。鶴見神社で祭典が行われました。そのときに宮司の私邸に、南寺方の氏子たちに「だんじりを返して頂戴」と頼んでしまいました。

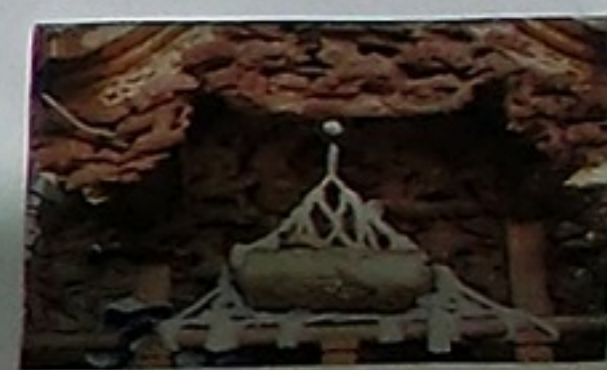
「だんじり」の購入の件に逸話があります。明治20年のときに、鶴見の若者たちは「だんじり」が欲しくて仕方がなかったのです。大阪の「住吉村」へ行った時、ちょうど気に入ったものを見つけ、鶴見の村で買ってくれなかったならば、ここから動かない、村には帰らない、と居すわってしまったのです。1ヶ月も帰らないのです。息子たちが帰らないので村人たちは村の長老たちに直談判し、住吉神社東側にある堂宮、地車大工の「住吉・大佐事」川崎仙之助、宗吾氏に地車を発注し、当時のお金で金三百五十円を支払い、念願の地車を購入したのです。(当時、200円出せば、そこそこの軒家が購入できた)今年で123年目を迎える骨董的価値のある「だんじり」です。それより少し遅れて西の町・中の町の2台の「だんじり」を購入しました。

ここで鶴見の2台ある「だんじり」の楽しみ方を伝授します。鶴見の「だんじり」は岸和田市の「だんじり」と違い、100年を超える年代物です。従いまして、岸和田市の「だんじり」祭りを「動」とすれば、鶴見の「だんじり」は「静」の動きです。それを認識して楽しめます。

先ず2台の「だんじり」の彫刻、つまり「彫り物」を見ることです。地車大工の「住吉・大佐事」川崎仙之助、宗吾氏は古今まれなる名大工です。その名人が作った「だんじり」の彫り物を見てください。

昔の武者の顔つき・体形を見ますと、胴長で、いかにも日本人らしい顔つきをしています。馬の「彫り物」を見ますと、現在の混血種の馬と違い、純粋な大和馬です。足が短く、力強さを誇る姿が描かれています。次に関が原の戦い、宇治川の合戦を彫り物で見ると面白いでしょう。

またコンコンチキチン・コン・チキチン・鐘と太鼓がこぎやかな「だんじり囃子」の楽しみ方もあります。「だんじり」が走るときの「だんじり呼子」と氏子地域の人たちからの「お花」(祝儀のこと)を戴いたときの大坂締め「打〜ちまひよ(パン パン) も一つせ(パン パン) いおう(祝う) て三度(パン パン)」の「だんじり囃子」を見るのも楽しいでしょう。宮入りをしたとき「だんじり」は神社の前で置かれます。そのときには「だんじり囃子」と「龍踊り」が見られます。これも見学しますと楽しいと思います。「だんじり」を綱で曳くところや、肩を入れて押すところなど、曳き方もいろいろ、これも楽しみの一つです。7月18日の夜には、隣村の「だんじり」との出会いがあり、道路を中絶して行われます。この出会いも女の子の囃子踊りもあり、見るのも楽しいです。



「鶴見のだんじりは、つるみの重要文化財」

夏祭りのだんじりは、引かずに神社の前で飾るだけである(夜店だけ)。

秋は、豊作を神に感謝する祭りである。

鶴見は、西と東の2台のだんじりを引く。祭りのときだけは、一軒に一人以上の人が出ることになっていた。また、西から東へ嫁いだ女性も、西の実家の方のだんじりを引き、東から西へ嫁いだ女性も、東の実家の方のだんじりを引き、夫婦といえども、祭りのときだけは敵、味方に別れて戦った。(老いも若きも、色とりどりの着物姿で、夜の更けるまで引き続けた)

昔の人達が考えた五穀豊穡を祝う**祭・り**。料理は押し箱寿司で、これは上に生節を乗せて作る大阪寿司のようなものであった。また、餅をつき、秋に採ったあぜ豆(大豆)を石臼でひき、**あん**こにして餅をくるんで食べた。

これは現在でも作って食べている。これが祭りの料理である。

【資料提供】

鶴見連合地域振興町会相談役

田中 富一 氏

鶴見緑地

～歴史と施設～

めずらしい植物が
いっぱい!!

施設

・ 咲くやこの花館

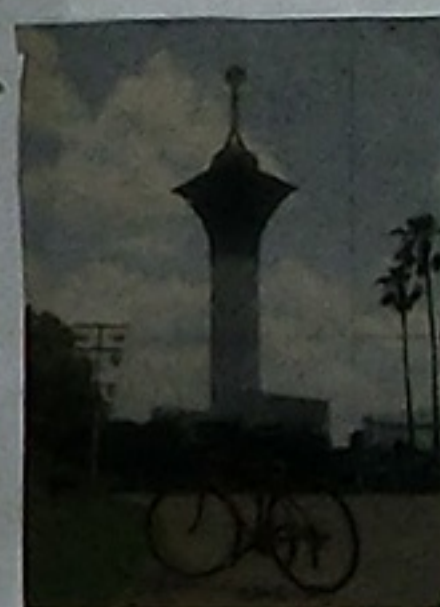
咲くやこの花館



・ キャンプ場

・ いのちの塔

インタビューを
した場所



いのちの塔

・ 生き生き地球館

生き生き地球館



・ バラ園・日本庭園

バラ園



日本庭園



・ 風車

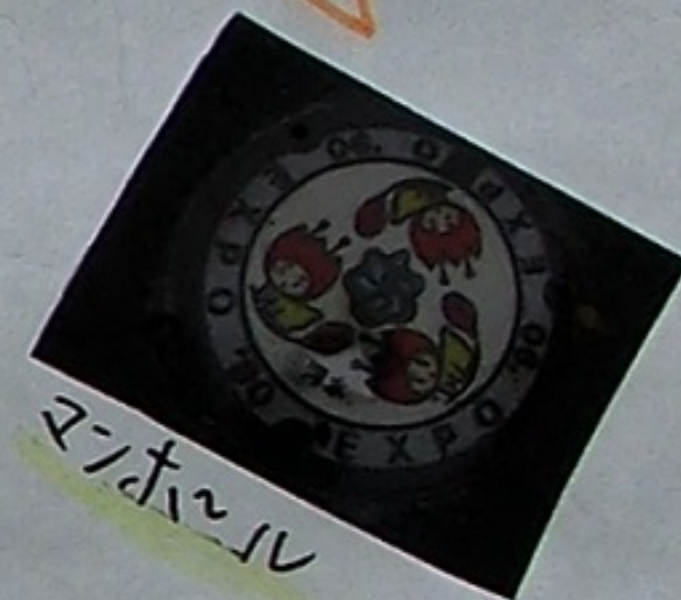
・ 売店

・ 鶴見緑地プール

など

お花がキレイ

風車



鶴見緑地にしか
ないマンホールです

メッチャ
高い!!

鶴見緑地新聞

自然と人間の共生を求めて

自然と人間の共生を問う国際花と

緑の博覧会の開会式が1990年3月31日

午前11時から大阪・鶴見緑地の会場

メインホール、90で開かれた。

メインホール、90は、さまざまな思

いをこらした美しい花で飾られた。

音楽はすべて花にまつわる歌のメド

レーで、フナレは全員ステージ

に勢揃いしてのテーマ曲「フラワ

レボリューションの大会で結んだ。

4月1990年4月1日午前9時30分 国際花と緑の博覧会

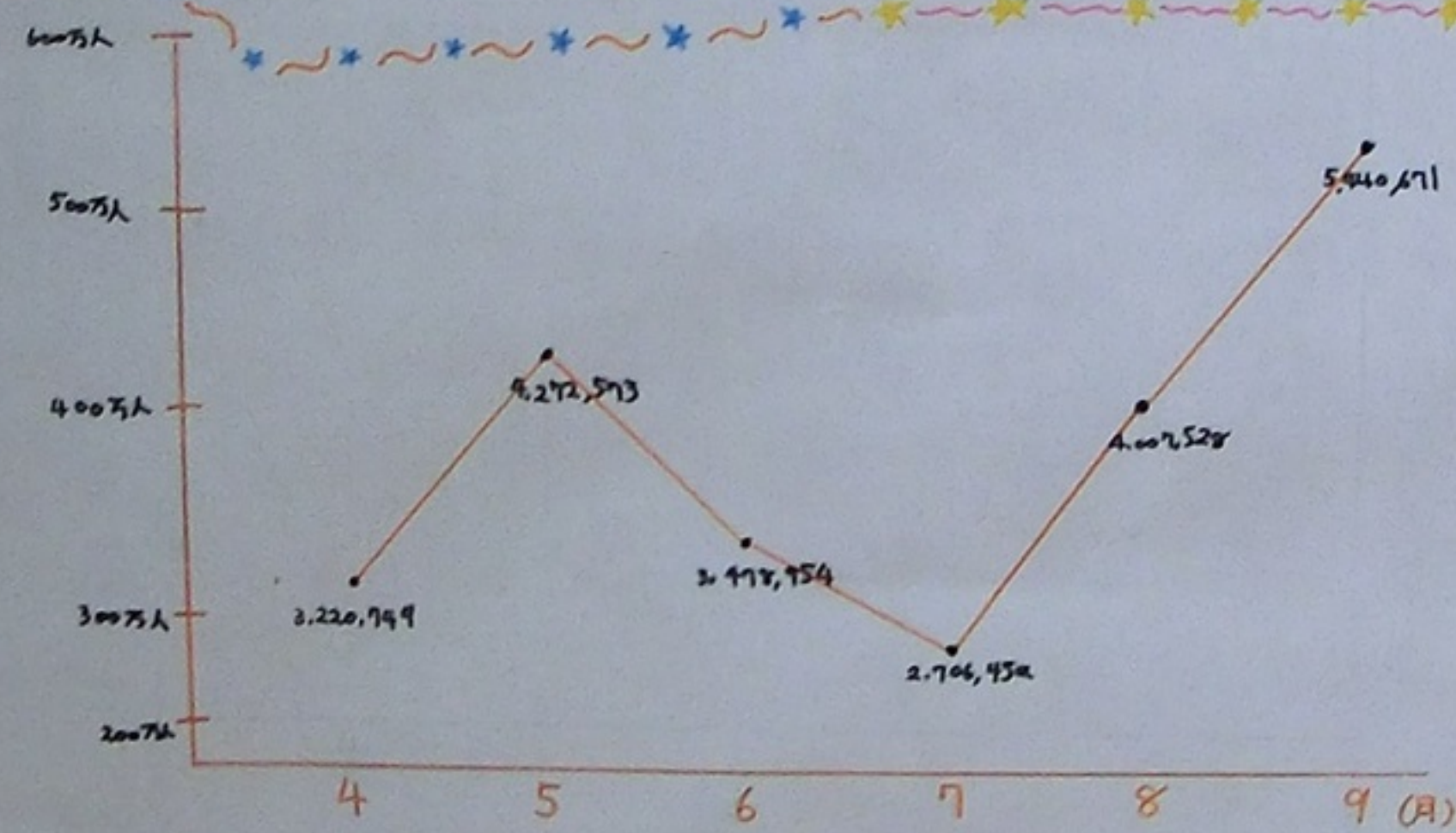
は4つのゲートで開式を、あといっせいにオープ

4月29日のみどりの日には26万人もが入場した。

5月ヒマラヤ、アマゾンの秘境から持ちこまれた珍しい

7月観光客が急速にダウン。イベントや大阪市姉妹都市フェスティバルと

- 1日最大入場者数 ... 370,752人 (9月23日)
- 10日最大入場者数 ... 42,144人 (9月19日)
- 1日最大入場者数 ... 50,998人 (4月27日)
- 10日最大入場者数 ... 91,170人 (8月14日)



観客数グラフ

いったイベントの展開にも
かかわり、来台者もまていら
の猛勢には驚かされた。
お盆休みの大混雑に再び観客が
開会式の前日にはヨナラEXPLO
ランニングとダンスで開かれた。

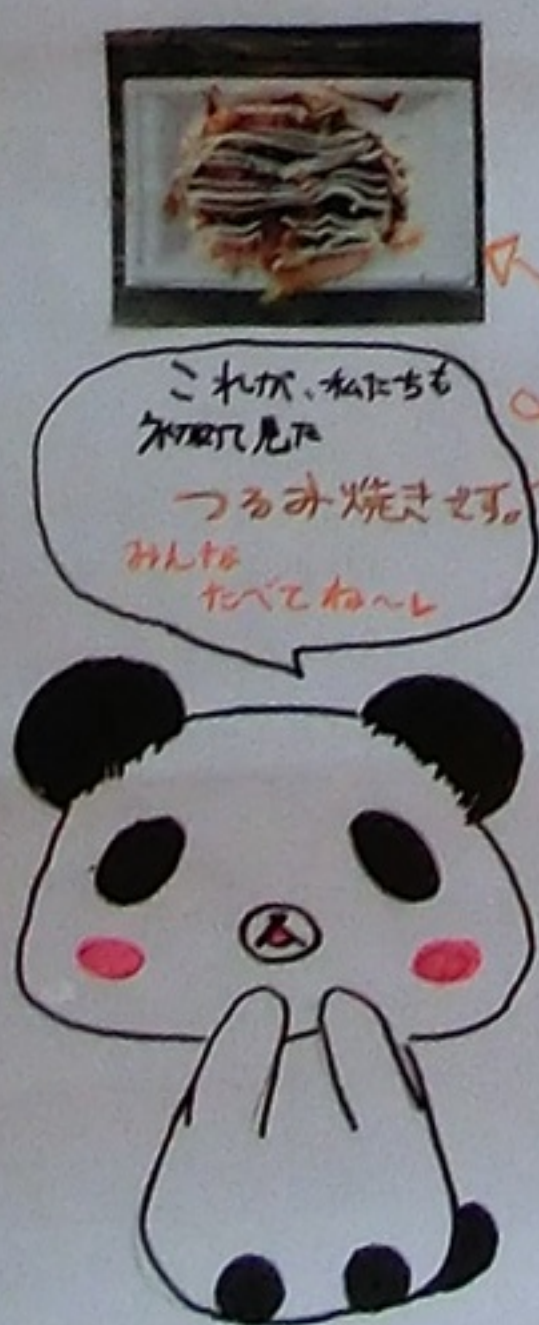
鶴見緑地プール

流水プール
ウォータータワー
室内プール

営業時間
午前 9:00 ~ 21:00

休園
月曜日

入場料
大人 1200円
小中学生 600円
幼稚園児以下無料



売店に販売されている珍しい物を見!!

バラ園の花の種類!!

風車の花の種類

3月下旬は
コスモス

10月中旬は
コスモス

4月中旬は
チューリップ

バラ園
バラの花の種類
風車
風車の花



新発見!!
 鶴見緑地
 マップ

